

増刊

実験医学増刊2020年Vol. 38 No. 15

ゲノム医療時代の がん分子標的薬開発研究

(仮題)

編集／西尾和人（近畿大学医学部ゲノム生物学）

関連キーワード・技術

- ◆ シグナル伝達 ◆ 標的探索 ◆ ゲノム医療 ◆ コンパニオン診断
- ◆ Liquid Biopsy ◆ 併用療法 ◆ がん免疫療法 ◆ 低分子医薬 ◆ 中分子医薬
- ◆ 抗体医薬

2019年はゲノム医療元年ともいわれ、遺伝子パネル検査が保険収載され、がん臨床の転換点となりました。従来の臓器別の診療が遺伝子変異別の診療へと移り変わりつつあるなか、現状ではドライバー変異が同定されたとしても治療薬があるかどうかわからないという問題がクローズアップされるようになりました。他方、一時は停滞期に入ったとみられていた分子標的治療薬の開発は、新たな創薬モダリティ、適応患者の層別化といった変化を追い風に、再び加速の機運が高まっています。そのような背景のもと、読者から今後の分子標的治療薬の充実に必要な基礎研究は何なのか、トレンドを整理して学びたいという声が多く届くようになりました。本企画は分子標的薬とそれを支える分子診断技術の研究最前線を複数の視点からご指導いただき、読者に次の一手を考えるきっかけを提供することをねらいとするものです。

本書へのご出稿のポイント

- 癌学会（10/1～3）・癌治療学会（10/22～24）で新刊展示予定
あわせて20,000名以上の来場者に訴求するテーマです（※開催予定は5月時点の情報です）
- 医・薬・理・工と幅広い読者層
動物モデル、生理・病理解析、分子プロファイリング、化学合成…と読者の興味対象の技術も様々です
- 企業も注目
製薬・検査・治験関連企業も注目の話題、学術イベントが縮小・延期するなか貴重な情報源となります

広告料金表

ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	300,000
表紙3	4色	1P	200,000
	1色	1P	150,000
表紙2	4色	1P	250,000
	1色	1P	170,000
中付 [※] (記事中)	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
後付	4色	1P	150,000
	4色(ブリード)	1P	165,000
	1色	1P	90,000
差込	1色	1/2P	55,000
		1枚	200,000

※写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます
 ※価格には、消費税は含まれておりません
 ※ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます
 ※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)

発行概要

- 発行部数 8000部
- 発行日 2020年 9月 4日(金) 発行予定
- 広告申込概要 (B5判オフセット印刷)
 - 申込締切日 2020年 7月 20日(月)
 - 原稿締切日 2020年 7月 27日(月)

※日程は変更になる場合がございます
 ※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

【モノクロ広告】データ

1頁……天地 220 mm × 左右 150 mm
 1/2頁……天地 105 mm × 左右 150 mm

【カラー広告】データ

1頁……天地 220 mm × 左右 150 mm
 ブリード版……天地 257 mm × 左右 182 mm
 表紙4……天地 192 mm × 左右 150 mm
 表紙4ブリード……天地 202 mm × 左右 160 mm

※入稿形式 : Adobe Illustrator

使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】

株式会社 羊土社
 〒101-0052
 東京都千代田区
 神田小川町2-5-1
 TEL: 03-5282-1211
 FAX: 03-5282-1212
 URL:
 www.yodosha.co.jp/

【広告総代理店】

株式会社 エー・イー企画
 〒101-0003
 東京都千代田区
 一ツ橋2-4-4
 一ツ橋別館4F
 TEL: 03-3230-2744
 FAX: 03-3230-2479
 E-mail:
 adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、「実験医学増刊2020年 (Vol. 38 No. 15) がん分子標的薬開発研究」に広告掲載致します。

貴社名 : _____ TEL : _____ FAX : _____

所在地 : 〒 _____

担当者名 : _____ 所属 : _____ E-mail : _____

掲載場所 : _____ 頁 / 枚 _____ 掲載料金 : _____

支払方法 : _____ 支払日 : _____



序文 西尾和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学)

概論—章立ての意図と、近年の分子標的薬開発研究のトレンドについて 西尾和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学)

第1章 新しい標的

- 1) 融合遺伝子—NTRK 阻害薬 片山量平 (がん研究会がん化学療法センター基礎研究部)
- 2) RAS 内堀 健 (がん研究会有明病院呼吸器内科)
- 3) がん代謝・ミトコンドリア 本橋ほづみ (東北大学加齢医学研究所加齢制御研究部門)
- 4) メチル化 鈴木孝禎 (大阪大学産業科学研究所)
- 5) 腸内細菌叢 角田卓也 (昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門)
- 6) リポジショニング 堀本勝久 (産業技術総合研究所創薬分子プロファイリング研究センター)
- 7) ADC—抗体-薬物複合体 米阪仁雄・中川和彦 (近畿大学医学部附属病院腫瘍内科)
- 8) 核酸医薬 田原栄俊 (広島大学大学院医系科学研究科細胞分子生物学)

第2章 ゲノム医療時代のコンパニオン診断薬開発の在り方

- 1) 今までの CoDx の考え方 平瀬主税 (近畿大学病院臨床研究センター)
- 2) グループ化コンパニオン診断 矢花直幸 (医薬品医療機器総合機構 (PMDA))
- 3) マルチコンパニオン診断 武田真幸 (近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)
- 4) 希少がん・希少フラクションの臨床試験
—マスタープロトコル、バスケットトライアル、アンブレラ型臨床試験
角南久仁子 (国立がん研究センター中央病院臨床検査科)
- 5) Liquid Biopsy—TKI モニタリングの位置づけ 岩間映二 (九州大学病院がんセンター)

第3章 遺伝子パネル検査を分子標的薬から考える

- 1) 殺細胞性抗がん薬の位置づけ 濱西潤三 (京都大学医学部婦人科学産科学教室)
- 2) 希少がんのための分子標的薬 大熊ひとみ・米盛 勸 (国立がん研究センター希少がんセンター)
- 3) パネル検査による併用療法—安全性・BRAF+MET 清水俊雄 (国立がん研究センター中央病院先端医療科)

第4章 より精密ながんゲノム医療を目指して

- 1) ドライバー遺伝子の定量化 坂井和子 (近畿大学医学部ゲノム生物学)
- 2) ドライバー遺伝子を標的とした分子標的薬 古賀教将・光富徹哉 (近畿大学医学部外科学教室)
- 3) 非ドライバー遺伝子を標的とした分子標的薬
—マルチキナーゼ阻害薬とそのオフターゲット効果の考え方 西尾和人 (近畿大学医学部ゲノム生物学)
- 4) ICI と TKI の併用 林 秀敏 (近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)
- 5) 抗体 vs 小分子化合物 中村康司 (株式会社カイオム・バイオサイエンス)・秋永士朗 (アキュルナ株式会社)

第5章 耐性メカニズムとその克服方法

- 1) TKI 耐性メカニズム 矢野聖二 (金沢大学がん進展制御研究所)
- 2) 血管新生阻害薬耐性メカニズム 三橋惇志・西岡安彦 (徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野)
- 3) ICI 耐性メカニズム 富樫庸介 (千葉県がんセンター研究所細胞治療開発研究部)

第6章 未来志向の分子標的薬

- 1) 標的の探索：全ゲノムシーケンスは有用か？ 土原一哉 (国立がん研究センター先端医療開発センター)
- 2) AI 時代の分子標的薬創薬 海東和麻・山西芳裕 (九州工業大学大学院情報工学研究院)
- 3) 注目の創薬モダリティ①がん抑制遺伝子—TP53 活性化薬 人羅勇氣・塚本佐知子 (熊本大学大学院生命科学研究部)
- 4) 注目の創薬モダリティ②改変型抗体 辰巳加奈子 (中外製薬)・味元風太・井川智之 (中外ファーマボディーリサーチ)
- 5) 注目の創薬モダリティ③ペプチド 近藤英作 (新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学分野)
- 6) 注目の創薬モダリティ④protein degrader 大岡伸通 (国立医薬品食品衛生研究所)

広告出稿社
だけの
限定特典

メールマガジン「羊土社ニュース」に50%割引で広告掲載できます

※2020年のサービス予定

実験医学誌への広告掲載1回につき、
メールマガジン「羊土社ニュース」への広告掲載を
~~定価 60,000円~~ → **特別価格 30,000円**
で掲載いただけます！

(掲載サイズ：全角35字 x 8行/掲載回数：誌面広告1回につき1回)

「羊土社ニュース」とは

新刊・おすすめ書籍、キャンペーン、人材募集・学会/
セミナー開催などの情報をお届けします。

【購読者】生命科学・医学系研究者、学生、
医療従事者

【配信数】約28,000件(2020年1月時点)

【配信日】毎週火曜日(原則)